



⇒E-mail [fureainpo@gmail.com](mailto:fureainpo@gmail.com)  
⇒ホームページ <http://www.fureai-support.jp/>

# 新春

- 法人事務所・アトリエ 〒976-0042 相馬市中村字北町1-8
- デイサービス友遊(北町)
- デイサービス友遊(南飯淵)
- 中央児童センター(ポニークラブ)
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわりクラブ)
- 日立木小放課後児童クラブ(めだかクラブ)
- 磯部小放課後児童クラブ(げんきクラブ)
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはなクラブ)
- 相馬こどものみんなの家

TEL 0244 (36) 5420  
FAX 0244 (26) 5424  
TEL 0244 (26) 5424  
TEL 0244 (36) 3582  
TEL 0244 (35) 2008  
TEL 0244 (37) 8870  
TEL 0244 (35) 3400  
TEL 0244 (32) 1787  
TEL 0244 (26) 9011  
TEL 0244 (35) 4700



2023年・令和5年・癸卯  
今年もどうぞよろしくお祈りします。



みんなしあわせになろう・・・

みんないい笑顔で・・・

## げんきでいこうみんなともだち！！



イラスト：かがいぞうけいきょうじつのお子さん、書は友美子先生

### 2023年・令和5年 新年に寄せて

穏やかな気候の中で新年を迎えました。が、世界中で新型コロナウイルスは次々と変異しながら終息の兆しが見えないまま3年目。またロシアによるウクライナ侵襲で戦争の脅威は、治まらない。今年も辛厄年(みづのとし)。癸は物事の終わりと始まりの意味。悪いことは終わりにして新しいことの始まりにしたいものです。どんな状況下でも、新しい年を迎えるにあたって、今年こそは・・・と、夢は大きく描き、小さな幸せが大きな喜びになりますように・・・と願います。そして、今までの何気ない日常・あたりまえだった生活のスタイルをもう一度見直し、豊かな時間の有り様を新しい日常の生活を創造するきっかけになれば幸いです。

平成24年に南飯淵にデイサービス友遊を開所してから、今年で11年になります。翌年は北町にデイサービス友遊Ⅱ、訪問介護事業所友遊、介護タクシー友遊、居宅介護支援事業所友遊も加わり現在に至り多くの皆さまにご利用いただいております。利用者様はじめ家族の方の想いや願いを大切に、より安心して生活できるリンクされたオアシスづくりを目指し、日々奮闘しております。

中央児童センターの管理運営を、平成18年より相馬市から委託され活動の輪が広がりました。子ども達の豊かな心の育ちのために相馬絵画研究所で長年培ってきた活動に加え、更なる活動の場を提供し15年になります。桜丘小学校の放課後児童クラブに加え、平成23年からは飯豊小・日立木小・磯部小・八幡小のクラブの皆さんが仲間入り。各クラブとの交流・合同での活動を通して、他地域のひととの出会いの中で、気配りや思いやりの心が育まれ、それぞれが成長していき、頼もしい姿が見られます。相馬こどものみんなの家では、ふし親子教室を開催し、安心して子育てを楽しめる場を提供しております。

かがいぞうけいきょうじつは昭和41年に創立して、今年度で57周年。NPO法人ふれあいサポート館アトリエとして認証されて20年。アトリエは百年から二百年物の木ぬくもりのある魅力的な建物・雰囲気のある空間です。その中で3歳児から高校生までが一緒にアートを通じて学び、絵を描くだけでなく遊びながら成長し合う姿が見られます。相馬絵画研究所30周年を記念し、平成8年に反遊寮を開業して27年。昨年の12月までの累計で2800回焼きあげました。3歳から90代のおじいちゃんおばあちゃん、大勢の皆さんに炎の芸術を楽しんでいただきました。

今年9月には、京都の法然院で倉本信之画業60周年を記念して新作を含め回顧展を開催する予定です。2年連続の地震で倒れたキャンパスのあと片付けで大変でしたが、しまい込んでいた数十年前の掘り出し物の作品を見つけ新たな感動もありました。

私達の地域一体の活動が、豊かさを循環させ、皆様方の〇〇(フオリティオライフ)の向上に僅かでも役に立てますよう・・・2023年も新しいアクションを起こし、これからも、みんなが夢と希望に満ちた未来を制作できるアトリエでありたいと願います。スタッフ一同 イキキ キラキラ みんな いい笑顔・・・で皆様と共にこれからも歩んでいきたいと思っております。今年も、どうぞよろしくお祈り申しあげます。



# ふれあいサポート館アトリエ 新春メッセージ

## げんきでいこうみんなともだち



### 放課後児童クラブの活動より…なのはなクラブ…陶芸教室

八幡小学校・なのはなクラブ開設4年目、開設当初より担当させていただいています。毎年メンバーは少しずつ変わっていきませんが、今年度も元気モリモリなのはなクラブです!!地域柄か、学年関係なく仲が良く縦割りでの活動も得意です。

最近特に思うのは、子ども達は本当に外遊びが大好き!(これはどのクラブでも共通していることだと思いますが…)校庭を自由に使える分、端から端まで全力で鬼ごっこをする毎日!本気で走っている私に『先生、それ本気?本気で走ってよ〜!』と声をかけられます(笑)足が速いほうだと思っているんだけどな〜(笑)どんどん寒くなってきて大人は凍えています、子どもたちは寒さを感じないのか着ていた上着を脱いで走り回っています!子ども達ってすごい~!!

そんな活発な子どもたちも先日のまりこ先生による陶芸教室では“静”の時間で、しっかりと話を聞きながらお皿づくりに励むことができました。高学年の子ども達はもう次に何をすればいいのかわかっている、黙々と自分の世界に入り込み完成に力をこめます。初めての1年生も『陶芸って何?』でしたが、まわりの様子を見ながら工程の一つ一つを丁寧におこなっていました。たいてい、のびして〜…と一つの同じ塊から、それぞれの個性がしっかりと出るので、完成した作品を持ってきた時には『〇〇ちゃん(くん)ほいな〜』と一枚一枚想う時間でこちらも楽しくなりました。そんな“静と動”いつでも全力のなのはなクラブですが、各クラブとも同じく、毎日必ず変化があって楽しい現場です。

### カレンダーを作ろう!!

新年を迎えるにあたって、絵画教室の子ども達、そして、デイサービスのおじいちゃんおばあさんたちに絵と書でカレンダー作りをしてもらいました。

今年はずき年ということで…絵の分野では目、鼻とうさぎの顔を描いてもらい、書の分野では新年の目標や抱負を表す漢字一文字、又は、干支の文字いずれかを書いてもらいました。絵はうさぎの表情表現、書は気持ちを表現する味わいのある字に挑戦です。

今回、3歳から90歳代まで幅広い年齢の皆さんが同じ課題の制作にとりくみました。本番の白い紙にむきあい、いざ書き始めるときは、習字の経験がある人もない人も、3歳の子どもでも90歳の大人でもドキドキ緊張する気持ちは一緒、全集中し真剣に取り組む姿も年齢に関係なく一緒……。

しかし、できあがった作品はどれ一つとして同じ物がありません。書き手の心が映し出されたように個性豊かで、一生懸命さが伝わる味わいのあるカレンダーが完成しました。かわいらしい作品、元気いっぱいパワーのある作品やさしさが感じられる作品、落ち着いた趣のある作品など、魅力ある素敵なカレンダーばかりでした。

2023年、うさぎのように穏やかで躍動感のある年になりますように……カレンダーをお家に飾ってお楽しみください。(S・友美子)

### デイサービス友遊の現場より

新年あけましておめでとうございます。

昨年はデイサービス友遊の利用に関して嬉しい出来事がありました。「年を取り、近所との交流もなくなり寂しい」という利用者様の声をよく耳にしていたが、同じ地域の方を何人かご紹介いただき、デイサービス友遊に、新しいコミュニティの場として私が望むデイサービス利用の形が一つできました。

高齢者施設はネガティブなイメージがあり利用することに世間の偏見があるのが現実です。現在は、認知症予防、孤立しがちな高齢者の交流の場と社会生活の維持、家族の安心と休息の機会が得られる場としての機能も果たしています。そのことを広く周知することも私達の役割です。デイサービスを利用することで専門職と関わりを持ち、身近で気軽に相談できる環境を作ることが、老々介護や高齢者虐待などの様々な社会問題の解決にも繋がると考えています。微力ながら利用者様やご家族様の心の健康を保てればと思い、公認心理師の資格も取得しました。何か悩みがあれば一人で抱え込まずご相談いただければと思います。

デイサービス友遊はいつも利用者様や明るい職員の笑い声であふれています。今年も関わる方々が笑顔になれるよう一生懸命に支援させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(北沢 S・吉田千佳)

### 子ども達とともに…

「すごい!」「お〜」友だちの作品を見て素直に声をあげる子ども達。困っている様子を察知して黙って手を貸す上級生。学校も年齢も異なる集団ですが、そんな成長した姿を目の当りにすると、**子どもってすごい**なと感動してしまいます。そして、日々成長するのは当然のことだと思っても、それがどのように向かっていくのかを私達大人は、気付いてあげなくてはと思っています。

11月下旬から、倉本信之先生による特別授業油絵「自画像制作」が5回にわたって行われました。小学生コースの子ども達は、時折り尊敬の眼差しで先輩達の様子を盗み見てしては自分達も活動に没頭していました。実は、私も小学生と一緒に活動しながらも倉本先生の指導をアンテナを張り巡らせて見ていました。

始めの頃は緊張気味でキャンバスに向かう6年生以上の子ども達一人一人に対して、倉本先生は、穏やかに話しかけ「自分の思うように描きなさい。」「おしゃべりしていいんだよ。」など、ほとんど遠くから見守っていました。そして、最終回。完成の安堵感に浸っている子ども達に伝えた言葉が「みなさんはすばらしい。自信をもって堂々と生きてください。」でした。

上手に描こうとするよりも、見たり考えたりしたことを自分で感じたとおりに描くことが大切だということ。そして子ども達には、どんな人にならなければいけないかを伝えていたと思いました。私にとっても、半世紀前に受けた授業も蘇り、貴重な特別授業になりました。(S・遠藤裕子)

### 百寿を祝う 1923年・大正12年1月1日生まれ・100歳の誕生日

#### おめでとうございます!!

人生100年時代に入。超長寿社会。平均寿命も延びています。身近でも、友遊の利用者様は90代の方も多く、11月に亡くなりましたが104歳の方も利用されていました。身内でも、伯父は1月1日が100歳の誕生日。いわき市に独り住まいでいるので久しぶりに会いに行きました。電話に出ないので、どうしているか心配で訪ねました。恐る恐る玄関のドアを開けると、変わらぬニコニコ顔の伯父さんがいました。耳は遠くなったものの明るく笑う顔は以前と変わらず、こちらまでも笑顔になります。

戦争にいった話、家族に先立たれ今は一人暮らし。大変な苦勞もあつたらうに愚痴一つありません。長生きの秘訣は、くよくよしないこと。よく笑うこと。学びがあること。社会参加を続けていること。等、人生をポジティブに生きることだと、伯父さんを見て感じました。帰りには100歳の伯父の作った野菜を、車にいっぱい詰め込んでくれ手を振って見送ってくれました。こんな伯父さんに、私達もあやかりたいものです。(S・まり子)

### 我が家のお年玉考

お正月

あけましておめでとうございます。から始まって……子ども達の正月は、何よりもお年玉が楽しみ……お年玉をもらう時は疑問にも思わなかったがあげる身になってみると出費がかなり大変。お金の価値がまだわからない子どもにいくらあげたらいいのか……?考えた末、我が家のお年玉は、**数え年年齢の100倍**に決め、半世紀近くになる。つまり、5歳になる子は500円。100歳で1万円。中学、高校生になるとこの金額に



不満も出てきたが、我が家方式を無理やりでも徹底させたお陰で、いくらあげたらいいか考えあぐねることもなく用意でき、出費も抑えられた。

皆さんちのお年玉は、いくら……?でしたか。(S・まり子)